

あ と が き

8月26日に開催しました守山市教職員全体研修会・教育研究発表大会には、多くの教職員の皆様にご参加いただきありがとうございました。これまで、2月中旬の開催でしたが、今年度より開催時期を変更し、守山市教職員全体研修会と合同開催とさせていただきます。全国学力・学習状況調査の考察をはじめ、対応すべき喫緊の課題である不登校児童生徒への支援や、体罰・不適切指導防止研修等、教職員として日々の教育実践で大切にすべきことを学ぶ機会としました。「目の前の子どもの姿をしっかりとみること」、「子どもの心に真に届く指導をすべきであること」が大切であると確認できた研修であったと実感しています。

さて、今年度の研修は、研修参加者が研修後に「何ができるようになるか」、研修で「何を学ぶか」、研修を通じて「どのように学ぶか」を明確にし、研修参加者が「主語」となるような研修にすることを意識して計画し実施しました。また、それぞれのキャリアステージに応じて教職員が主体的に自分に必要だと思うことを選択して学ぶことができる研修を企画・運営し、さらに教育に特化した内容だけではなく、幅広い知識や教養を得ることができたり、リフレッシュできたりする研修内容も企画しました。

また、研修機会の確保については、教職員の働き方改革も考慮し、オンデマンドでの研修や課業日に開催する研修の開始時間を工夫したりする等、研修を受けやすい体制づくりに努めました。今後も、心に響く研修講座となるよう、その内容や方法の一層の改善に努めてまいります。

本研究所では、学校園が直面している今日的教育課題の解決を目標に、研究や研修講座を企画し、守山教育のさらなる発展に寄与できるよう引き続き努力してまいります。本研究所の研究成果が、本市教育実践の一助となれば幸甚です。これからも、多くのご助言をいただく中で、充実した研究、研修に尽力していきたいと考えておりますので、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本年度の研究におきまして、指導講師としてご協力いただきました、立命館大学 立命館大学大学院 人間科学研究科 特任教授 野田 正人様をはじめ、教育研究発表大会でご講演いただきました京都橘大学 教授 佐敷 恵威子様、研修講座、研究でお世話になりました多くの皆様に、衷心より感謝申し上げます。

守山市教育研究所 所長補佐 岡田 伊津子